

寺報

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 同上
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail info@choshuin.jp/

編集責任 渡辺 祥文



新型コロナウイルス肺炎の短期終息を只々
祈るばかりです。

平成二十三年の三月十一日以降の苦しみは何に
たとえることもできませんが、あのときのよう
に心を一つにして感染拡大を防ぐべく共に進んで
まいりたいと切に願うものです。

令和二年三月

田澤山長秀院
清水山仲興寺

代表役員 渡辺 祥文

並 総代世話人一同

—花まつり—

釈尊降誕会

四月八日はお釈迦様のお誕生日です。ご
誕生のおり天から花びらと甘露の水が降り
そそいだ故事と、お釈迦様をまつる御堂に
花をかざることから花まつりと呼ばれま
す。かわいらしいお釈迦様に甘茶をそそぎ、
そのご誕生をお祝いたします。

苦しいときも、嬉しいときも、生きて
いる有難さを忘れず大切に歩むことを誓
うことが大きな願いです。

大震災から九年目となります。人と人
との絆を大切にして、皆ではげまし合い
ながら一歩一歩進んでまいりましょう。

東日本大震災原発事故よ
り九年が過ぎました。
殉難精霊のご冥福を念じ
上げ、復旧復興が進展す
ることを念じ上げます

案内板

四ページ記載の通り、各
種行事・集会等を取り止め、
中止と致します。人類未知
のウイルスの出現、新たな
疫病が感染拡大するという
SF映画のような展開、そ
して、WHOによる三月十
一日の「パンデミック相当」
宣言、生きていると本当に
いろいろなことに出会うも
のだと思います。

今は、ただ人類が一つに
なつて全世界に拡がったウ
イルスを封じ込めなければ
なりません。

頑張りますよう。

春彼岸会

山主拝

永平寺からの便り

お陰様で弟子秀憲は大本山永平寺上山三年目を迎えました。平成三十年三月、皆様に送って頂き三年目となるのかと月日の過ぎる速さを改めて思っています。

最近も、「秀憲君、頑張っているのですか?」「いつ帰ってくるのですか?」等々、その度ごとに声をかけて頂いています。

転役、転衣、瑞世拝登

二月二十日の夜、本人より電話がかかってきました。携帯電話もなく、常に音信不通なので逆に驚きました。

「どうした?何事だ!」というのと、「転役があり、『国際係兼参禅係』に移りました。各地から上山する参禅者(三泊四日等の雲水と同じ修行をする一般の方々)の指導係です。アメリカやヨーロッパ・ア

ジアの人々もいるので、英語で説明することもあるそうです。まだ外国の参禅者の人々の指導はしていません。」

「それは何より。とにかく親切に真心こめてやるんだぞ。全て修行であるけれど、道元禅師様の教えの通り、布施・愛語・利行・同事を実践するんだヨ。」

「ハイ、わかりました。ところで、間もなく『接客補』(役職名・永平寺上山の一般の人々に対する案内・世話係の長)になるとの内辞がありました。転衣と瑞世の申請を宗務庁へしてもらうように師匠さんへお願いするようにとのこと。それで電話しました。」

「え!!転衣・瑞世!」と大きな声を出してしまいました。転衣とは、僧階が上がり、墨染めの黒いお袈裟から木欄色(黄土色)をはじめ

とする色のついたお袈裟をつけることが許されることであり、それに伴い、大本山永平寺・大本山總持寺に拝登して、「一夜住職」として法要の導師をつとめることとです。曹洞宗の僧侶は必ずこの出世の式を行い、僧階が「和尚」となるのですが、それは昨年五月に帰山して修行した「伝法」を行なつてからのこととなります。

これまでの「座元」から「和尚」に上がったということであり、見た目としては、色の袈裟をつけることができるようになったということ。三年目となり、自らの修行だけで精一杯では許されなくなります。永平寺が円滑に修行道場として、日本中、今はまた世界中からの禅の本山として仰いで頂けるよう務めなければならぬということなのです。

次の日、朝からバタバタと宗務庁へ申請書類を整え提出しました。新型コロナウイルス肺炎の全国的な拡がり、永平寺も対処について日々会議が続いているというのを聞きながら、道場内外の安全確保に本当に大変であろうと想像しているところです。そんな中、二月下旬には令和二年の新到さん(新入生)が、山門の前に立ち上山を請う木版を打っています。

謹啓

大變御無沙汰しております。

永平寺修行も三年目となりました。

令和2年2月26日
において記念撮影



新型コロナウイルス肺炎について

東日本大震災から丸九年となり十年目に入ろうとする復旧復興の最中、また、東京オリンピックをあと五ヶ月に控えている今、新型コロナウイルスの出現に本当に驚き困惑するばかりです。

人類未知のウイルス

コロナウイルスはこれまでも変異するものと知られているようですが、病気とあって、新型コロナウイルスとなり、大流行となると只々困惑の極みです。今、トイレトペーパーや、マスク、アルコール系消毒薬が店頭よりなくなることを見るのは三度目であると思います。第一回目はオイルショック(若い方々は教科書でしか



大本山永平寺 瑞世記念

令和2年2月26日 永平寺

お蔭様で大本山永平寺における
瑞世拝登を了りました。
今後とも宜しくお願ひ致します。
令和二年二月一日 秀憲 敬具
壇信徒各位

三月三日、瑞世拝登を終えた記念写真が送られてきました。(大本山總持寺は、今後二年以内に拝登します)新しい役職に対し、真心をこめてつとめて欲しいと願っています。

(住職 祥文 拝記)

知らない)、第二回目は大震災原発事故、

そして今回なのですが、情報がなくてパニックになり情報があふれているからおきるパニックの二つを含んでいると思います。

とにかく未知のものには、注意深く、科学的に、かつ冷静に向き合いたい。そして、原発事故においても福島中みなで協力して乗りきったことを思い出したいと思っております。

それでも万全の対策を

それでも対策は万全を期していきたいと思えます。人と接触せずということとは不可能なことですが、多人数集合は全

てやめなければなりません。特に寺院等の人が集まるところは尚更です。様々なことが残念ですが、まさに万全を期するため、二ヶ月間は行事を中止にします。本当に困るのですが、中止とします。

高齢の方々は気をつけてください。今の段階で高齢者の人々の罹患致死率は二十一%越とのこと、これは高齢者が罹ると五人に一人が死んでしまうということです。くれぐれも気をつけて頂きたいと思えます。

ウイルスの発生など誰もとめられませんが、しかし、原発事故も現実が空想物語を越えていきましたが、いわゆるアウトブレイク、パンデミック相当(感染拡大・感染爆発)が宣言されたことに驚いています。只々日本が、世界が、また私たち一人一人が冷静に事に当り、収束を勝ちとらなければならぬと思います。

(住職 拝記)

三月・四月行事中止のお知らせ

三月十二日現在、新型コロナウイルス肺炎は感染拡大のま
ま終息の兆しも見えない状態
にあります。

小中高の休校措置は勿論の
こと、広く集会・会議等の自粛
を求められ、また全ての機関が
「今後、一〜二週間が（感染爆発
を防ぐ）山場」として多くの集
会・会議・イベント等を取り
やめています。

長秀院・仲興寺も三月〜四
月の行事等全てを中止といた
します。
各種総会等もありますが、平
成二十三年（二〇二一年）三月
大震災の緊急時にならない、全て
中止といたします。

尚、新型コロナウイルスの感染状況を見
て今後どのようにするかを協
議してまいります。

中止となる行事

長秀院

- 三月二十八日
 - ・ 大般若祈祷会・総供養
 - ・ 大聖不動明王尊例大祭
 - ・ 花まつり（釈尊降誕会）
 - ・ 護持会総会

仲興寺

- 三月十九日
 - ・ 春彼岸会供養
 - ・ 念仏講「春念仏供養」
 - ・ 護持会総会、
- 四月十七日
 - ・ 念仏講総会

● 四月十七日

- ・ 貝沼出世観音例大祭

● 四月十日

- （旧三月十八日）
- ・ 聖観音例大祭

● 四月二十三日

- 〜二十五日

- 大本山永平寺
- 焼香師随伴参拝旅行
- （※来年同日開催予定）

● 四月二十三日

- 〜二十五日

● 梅花流御詠歌定例会

- 大本山永平寺
- 焼香師随伴参拝旅行
- （※来年同日開催予定）

● 写経会等（三月・四月）

● 梅花流御詠歌定例会

その他の中止行事

- 福島市仏教会主催
『花まつり』講演会

● 曹洞宗

- 五月二十七日〜二十八日
全国梅花流奉詠大会
於・北海道
真駒内アリーナ

※長秀院・仲興寺行事については
例大祭が多くありますので、そ
ちらは予定当日に任職が一人で内
献のおつとめをいたします。

※このような発表をすることはと
ても心苦しいのですが、高齢者の
致死率二十一％という数字が発表
されていることは、本当に危機意
識をもつて事にあたらねばなりま
せんので、当分二ヶ月間は「集ま
るイベント・会議・行事」は、中
止とさせていただきます。

何卒ご賢察の上、ご理解くださ
いますようお願い申し上げます。